

報道発表資料

2016年12月19日

テクトロニクス、400G 物理層 PAM4 トランスミッタ検証ソリューションの アップデートを発表

PAM4 のエラー検出、業界トップクラスの SNDR 測定機能、新しい FFE/DFE イコライゼーション機能を
操作性に優れたソリューションとして実現

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は、本日、DPO70000SX シリーズ・パフォーマンス・オシロスコープによる、400G 物理層のトランスミッタ設計検証のための PAM4 ソリューションをアップデートしたことを発表します。最新のリリースでは、PAM4 のエラー検出機能、業界トップクラスの SNDR(Signal to Noise and Distortion Ratio、信号対ノイズ、歪み比)測定機能、新しい拡張 FFE/DFE イコライゼーション機能が、優れた操作性を持ったソリューションで実現されています。

市場の要求に応えるため、シリアル・データ・レートはチャンネルあたり 56Gbps に近づきつつあります。これは、IEEE 802.3bs や OIF-CEI などのさまざまな 400G 規格グループを、NRZ 信号変調技術でなく、帯域効率に優れた PAM4 変調へと牽引しています。多くの規格は現在も進化しており、400G 設計技術者は PAM4 のトランスミッタ測定の複雑さに悩まされています。今回発表する最新の PAM4 ソリューションでは、すべての PAM4 測定機能を一つのアプリケーションに統合することにより、その複雑さを軽減しています。

テクトロニクス、パフォーマンス・オシロスコープ、ジェネラル・マネージャのブライアン・ライク(Brian Reich)は、次のように述べています。「25Gbps、50Gbps 製品の設計技術者は、NRZ から PAM4 への移行で苦労しています。当社の最新の PAM4 ソリューションは、数多くの PAM4 測定機能を、使いやすい1つのユーザ・インタフェースに統合しています。また、DPO70000SX シリーズの優れた信号アキュイジション機能により、PAM4 のコンポーネント／システム の特性評価で優れたマージン性能を得ることが可能になります」

IEEE、OIF-CEI 規格の最新版に対応する、新しい PAM ソリューションの特長は以下の通りです。

エラー検出と表示 — 繰返しのシンボル・パターンは自動的に認識されるため、SER(Symbol Error Rate、シンボル・エラー・レート)と BER(Bit Error Rate、ビット・エラー・レート)の値は蓄積され、レポートされます。エラー・ナビゲータにより、個々のシンボル・エラーは取込んだ波形内に、前後関係の情報と共に表示されます。

業界トップクラスの SNDR 測定機能 — 今回のリリースでは、重要な SNDR 測定機能が新たにサポートされています。DPO70000SX シリーズ ATI ベース・オシロスコープは業界トップクラスの信号忠実度により、最高 34dB の SNDR 測定機能を備えています。

イコライゼーション・サポート – 今回のリリースでは、最新の IEEE 802.3bs の 400G 仕様で規定されている、拡張 FFE (Feed Forward Equalization) と DFE (Decision Feedback Equalization) の信号コンディショニング要件を含んでいます。

PAM4 ソリューションは、DPO70000SX シリーズ、70GHz、50GHz オシロスコープ独自の ATI (Asynchronous Time Interleaved、非同期タイム・インターリーブ) 技術を利用しており、優れた低ノイズ性能と測定確度を実現しています。同期型のタイム・インターリーブ・アーキテクチャを使用した、従来のオシロスコープはノイズが大きく、また帯域が十分でないためにこのような複雑な電気信号と光信号のノイズとジッタが効果的に分離できません。ATI で取込んだ信号と新しい PAM4 ソリューションにより、従来のリアルタイム・オシロスコープでは実現できなかった優れた測定確度と操作性を実現します。

製品価格

DPO70000SX シリーズ 共通オプション

Opt. PAM4 PAM4 トランスミッタ解析ソフトウェア 97 万 8 千円 (税別)

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト/計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。